

Miele

取扱説明書

電気クッキングヒーター

KM 6520 FR





お客様の安全を確保し機器の損傷を避けるため、設置する前や初めてご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

目次

安全上のご注意	4
環境保護のために	12
各部の名称	13
クッキングヒーター	13
コントロールパネル	14
調理ゾーン	16
初めてお使いになる前に	17
初めてお使いのときのクリーニング	17
初めてお使いになる前に	17
原理	18
使用に適した鍋	19
節電のポイント	20
設定	21
操作	22
操作方法	22
電源を入れる	23
火力レベルを設定する	23
火力レベルを変更する	23
調理ゾーンをオフにする	23
余熱表示	24
火力レベル設定 - 拡張火力レベル設定	24
拡張調理ゾーン/外側のリングをオンにする	25
自動加熱	26
タイマー	27
キッチンタイマー	27
自動スイッチオフ	28
両方のタイマー機能を同時に使用する	29
その他の機能	30
Stop & Go	30
呼び戻し	30
デモモード	31
クッキングヒーターのデータを表示する	31

安全性機能	32
システムロック/セーフティロック.....	32
安全のためのスイッチオフ機能.....	33
プログラミング	35
清掃とお手入れ	38
こんなとき、どうしたらいい?	40
ディスプレイのメッセージ.....	40
予期しない動作.....	41
期待通りの結果にならない.....	41
一般的な問題または技術的な障害.....	42
アクセサリーと洗剤	43
設置	44
電源接続と設置.....	44
安全な離隔距離.....	45
設置上の注意.....	49
ビルトイン寸法.....	50
設置.....	51
電源接続.....	53
アフターサービス、型式表示シール	54
故障の際の連絡先.....	54
型式表示シール.....	54
保証条件と保証期間.....	54

安全上のご注意

表示	表示の意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が中程度の傷害を負う可能性、もしくは物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院・長期の通院を要するものを言います。
- 中程度の傷害とは、治療に入院・長期の通院を要しないけが、やけど、感電などを指し、物的損害とは、財産の破損及び機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。

図記号の例



禁止（してはいけないこと）

具体的な禁止内容は、図記号の中や文章で指示します。



強制（必ずすること）

具体的な強制内容は、図記号の中や文章で指示します。



注意（警告を含む）

具体的な注意内容は、図記号の中や文章で指示します。

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項をマークで表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 禁止行為	 潜在的な危険・警告・注意
 分解禁止	 感電注意
 水場、湿気の多い場所での使用禁止	 機器に損害を与える可能性のある場合
 接触禁止	 発火注意
 強制／指示	 高温注意
 電源接続に関する注意	 破裂注意
 必ずアース線を接続	

安全上のご注意

本製品は、現行の安全基準に適合しています。しかし、不適切なご使用は、人体への危害および、物的損害の恐れがあります。本製品を初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お客様の安全を守り本製品の損傷も防ぐことができます。本取扱説明書は大切に保管し、製品を譲渡する場合は、必ず本書を添付してください。



警告

本製品は、すべての安全要件に適合しています。ただし、正しくお使いにならないと、人的損害または物的損害を招く危険性があります。

本製品に対する事故または損傷の危険を避けるために、本製品を設置するときや初めてご使用される前に、この取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書には、製品を正しく設置して安全にお使いいただくための注意事項と、お手入れに関する重要な情報が記載されています。


ミーレはこれらの指示に従わないことにより生じる被害や損害の製造者責任は負いません。


本書は大切に保管し、新しい使用者に内容をよく理解してもらうようにしてください。本製品を譲渡する場合は必ず本書を添付してください。







警告

正しい用途

 本製品は、家庭およびそれに類似する環境に使用することを目的としています。

 本製品は、屋外で使用することを想定していません。

  本製品は調理および食品の保温のための家電機器としてのみお使いください。その他の用途で使用した場合の製造者責任は負いかねます。用途を誤ると事故や損傷を招く危険性があります。


  身体的、感覚的、精神的に介護を要する方、または操作経験のない方、操作方法を理解していない方がご使用になる場合は、安全にお使いになれるよう周囲の方が操作中に十分配慮し、操作に伴う危険について説明するようにしてください。安全な使用方法がしっかりと説明されている場合に限り、監督者がいなくても本製品をご使用いただけます。誤った使用による危険性を認識し、理解していることが必要です。


安全上のご注意





警告


お子様の安全


 8歳未満のお子様からは、目を離さず、本製品に近づかないように注意してください。


 8歳以上のお子様は、操作の説明を明確に受けていて、安全に使用できる場合に限り、監督者なしで本製品をご使用いただけます。お子様は、誤った操作による危険性を認識し、理解していることが必要です。

 監督者のいない状況で、お子様に本製品のお手入れやメンテナンスをさせることはできません。

 本製品の近くではお子様に注意し、また本製品の近くで遊ばせないでください。


 本製品は、使用中はもちろんのこと、電源を切った後もしばらくは高温の状態が続きます。冷めてやけどの危険がなくなるまで、お子様を本製品に近づけないでください。


 やけどのおそれがあります。本製品の上方や後方の収納場所に、お子様が興味を持つような物を保管しないでください。


 お子様の本製品の上に登ってやけどをするおそれがあります。



警告

 やけどの恐れがあります。鍋やフライパンを調理ゾーンに置く際には、お子様が引っ張ってやけどをすることのないように、配置を考えてください。

 窒息の危険あり！お子様が遊んでいる最中に梱包材（ビニールのラップなど）に巻き込まれてしまったり、頭からかぶったりすると、窒息する恐れがあります。梱包材をお子様近づけないでください。

 システムロックを有効にして、お子様がうっかり本製品の電源を入れることのないようにしてください。クッキングヒーターの使用中はセーフティロックをオンにして、お子様が設定を変更することのないようにしてください。



警告

技術的安全性



不適切な設置、メンテナンス、修理により、大きな危険が生じる恐れがあります。設置、メンテナンス、修理は、ミーレの認定技術者のみが行えます。



本製品に損傷があると、安全性が損なわれるおそれがあります。本製品の外観に損傷がないか確認してください。損傷がある場合は、本製品を使用しないでください。



自律型電源システムまたは主電源と同期していない電源システム（アイランドネットワーク、バックアップシステムなど）で一時的または永続的な運転が可能です。運転の前提条件は、電源システムがEN 50160の仕様または同等の規格に準拠している必要があります。家庭用電気設備およびこのミーレ製品で提供される保護対策の機能および操作も、単独運転時または電源と同期していない運転時でも維持する必要があります。そうでない場合は、これらの対策は設備で同等の対策に置き換える必要があります。たとえば、現在のバージョン BS OHSAS 18001-2 ISO 45001 で説明されています。



本製品の電気的安全性は、正しく接地されたときにのみ保証できます。この基本的な安全要件を満たすことが重要です。問題がありそうな場合は、資格を有する電気技師に依頼して、家屋内の電気配線の検査を依頼してください。



本製品への損傷のおそれを防ぐため、本製品の電源プラグをコンセントに差し込む前に、型式表示シールに記載されている仕様データ（定格消費電力、電圧、周波数）が設置場所の主要電源と合致していることを確認してください。不明な点がある場合は、資格を有する電気技術者に問い合わせてください。



延長コードやマルチソケットを使用したたこ足配線で電源に接続しないでください。これらの場合、火災のおそれがあり、本製品の安全性を保証できません。



安全上の理由から本製品はビルトイン設置された後にのみ使用できます。



本製品は、固定されていない場所（船など）で使用しないでください。



本製品の筐体を絶対に開けないでください。



電氣的接続、コンポーネント、機械部品を触ったり改造したりすると、非常に危険であり、動作障害を引き起こすおそれがあります。



本製品が保障期間中の場合、ミーレ認定のサービス技術者が修理を行う必要があります。それ以外の人物が修理を行った場合、保証は無効になります。



ミーレが機器の安全性を保障できるのは、ミーレの純正交換部品が使用されている場合のみです。障害のあるコンポーネントを交換する際には、必ずミーレのスペアパーツを使用してください。





本製品は、外付けのタイマースイッチや遠隔制御を使用することを想定していません。


安全上のご注意





警告

 本製品を電源に接続できるのは、資格のある電気技術者のみです（「設置」 - 「電気接続」参照）。

 電源コードが損傷している場合は、資格のある電気技術者が専用の電源コードと交換しなければいけません（「設置」 - 「電源接続」参照）。

 設置、メンテナンス、修理作業の最中は、本製品が電源から完全に遮断されていなければいけません。設置作業、メンテナンス、または修理作業が完了するまで、電気が機器に供給されてはいけません。

 感電のおそれ。本製品に問題がある場合、またはセラミック面にひび、欠け、または破損がある場合は、使用しないでください。電源をすぐにオフにしてください。電源プラグから本製品のコンセントを抜いてください。ミーレのサービスまでご連絡ください。

 本製品を扉付きのキャビネットの中に設置する場合、必ず扉を開けた状態で使用してください。熱と湿気が閉じた扉の後ろにこもるおそれがあります。これにより、本製品、収納キャビネット、床面に損傷が生じるおそれがあります。余熱表示が消えるまで、扉を閉じないでください。



注意

正しい使用方法



本製品は使用中熱くなり、オフにした後もしばらく高温の状態が続きます。余熱表示が消えるまで、やけどのおそれがあります。



本製品からは高温の熱が放射されるため、使用中に本製品の近くに物を置いておくと、発火するおそれがあります。本製品を部屋の暖房として使用しないでください。



油脂は過熱されると火災を引き起こすおそれがあります。油脂の調理をする際は、本製品のそばを離れないでください。発火した場合は、水で火を消そうとしないでください。クッキングヒーターを主電源から遮断し、適切な防火毛布、鍋のふた、湿ったタオルなどをかぶせて火を消してください。



使用中は本製品のそばを離れないでください。煮たり、焼き上げている間は、目を離さないでください。



炎はレンジフードのグリースフィルターに引火するおそれがあります。レンジフードの下でフランベをしないでください。



スプレー缶、エアゾール、その他の可燃性物質は、加熱されると発火することがあります。このような物や物質を、本製品の下の引き出しに保管しないでください。本製品の下の引き出しは耐熱性である必要があります。



空のフライパンを加熱しないでください。



注意



缶詰や密閉された瓶など、密閉容器の中に入っている食べ物を本製品で加熱しないでください。圧力が容器の中で高まり、爆発するおそれがあります。



カバー、布、保護ホイルで本製品を覆わないでください。本製品の電源を誤ってオンにした場合や、余熱が残っている場合は、材料が発火したり砕けたり、または溶けるおそれがあります。



本製品を他のものを置く台として使用しないでください。本製品の上にナイフやフォークなどの小物類またはその他の金属物を絶対に置かないようご注意ください。

意図的にまたは誤って本製品の電源を入れたり、または余熱がある場合、本製品に金属製のものが残っていると加熱され、やけどするおそれがあります。材質によっては、本製品に残っている他の物も溶けたり燃えたりするおそれがあります。湿ったフライパンのふたは、セラミック面に付着して外れにくい場合があります。本製品を保管場所として使用しないでください。使用後は調理ゾーンをオフにしてください。



本製品が熱いとやけどするおそれがあります。熱い鍋やフライパンを取り扱う時は、耐熱の鍋つかみなどで手を保護してください。鍋つかみなどを使用する場合、布を濡らさないでください。濡らすと材質に熱が伝わるのが早まり、かえってやけどのおそれが高くなります。





ハンドミキサーなど、電気器具を本製品の近くで使用する場合、電気器具のコードが熱い調理ゾーンに接触しないようにしてください。コードの断熱材が損傷する可能性があります。


安全上のご注意





注意


 塩、砂糖、砂（野菜を洗った時にでるものなど）が鍋底の下に入ると、傷がつくおそれがあります。鍋を置く前に、セラミック面がきれいなることを確認してください。

 軽い物でも、場合によっては損傷を引き起こすおそれがあります。セラミック面に物を落とさないでください。

 熱い鍋をセンサーや表示ランプの上にと、下の電子基盤が損傷するおそれがあります。熱い鍋をセンサーや表示ランプの上に置かないでください。


 調理ゾーンが熱くなっている時は、砂糖、シロップ、プラスチック片、アルミホイルなどを調理ゾーンに落とさないようにしてください。調理ゾーンが冷めたときに、セラミックの表面に損傷を引き起こすおそれがあります。落としてしまった場合は、本製品の電源をオフにし、まだ熱いうちに、ガラスに適したシールド付きスクレーパーを使用して、砂糖、プラスチック、アルミニウムなどの残留物をすべてこすり落としてください。手袋を着用してやけどをしないように注意してください。セラミックガラスの表面を冷ましてから、セラミッククッキングヒーターに適したクリーナーでお手入れしてください。


 鍋を空焚きすると、セラミックガラスが損傷するおそれがあります。使用中は本製品のそばを離れないでください。


 底が滑らかな鍋やフライパンのみを使用してください。鍋の底面が荒いと、セラミックガラスに傷がつきます。





注意


 本製品では鍋を持ち上げるようにしてください。鍋を引きずると、引きずった跡がついたり、傷がついたりします。

 プラスチック容器やアルミホイルの容器は高温で溶けます。プラスチック容器やアルミホイルの容器を本製品で使用しないでください。

 クッキングヒーターのフレームおよび操作部分は、動作時間、高い出力レベル、大きなフライパン、使用されている調理ゾーンの数の影響を受けて高温になることがあります。

 アルミニウム製または底がアルミニウムの鍋やフライパンの場合、クッキングヒーターの表面に金属の光沢が残ることがあります。これは、セラミックまたはステンレスクリーナーで除去することができます（「お手入れ」参照）。

 こぼしたものを放置していると、燃える可能性があり、状況によっては除去できなくなります。汚れをできるだけ早く除去し、鍋底がきれい乾いており、油汚れが付着していないことを確認します。

 食品の調理にセラミック面を使用しないでください。常に適切な鍋とフライパンを使用してください。



注意

お手入れ

- 本製品の掃除にスチームクリーナーを使用しないでください。
スチームが電気部品に到達し、ショートを引き起こす可能性があります。

ミーレは、クッキングヒーターの製造終了後も、最低 10 年および最長 15 年、スペアパーツの供給を継続します。

環境保護のために

梱包材の廃棄処分

梱包は本製品を輸送の際の損傷から保護するものです。梱包材は廃棄する際に環境への影響が少ない材質を使用しているため、リサイクルすることを推奨します。

梱包材をリサイクルすることで、製造工程での原材料の使用、また、埋め立て地へ廃棄する量を削減することができます。

使用済み製品の廃棄処分

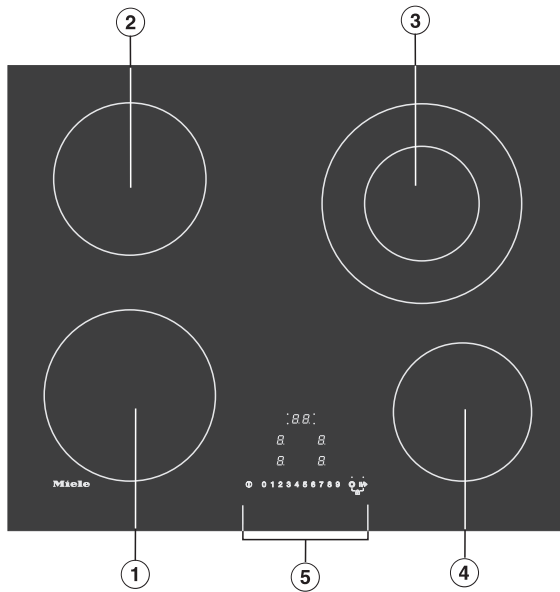
電気および電子機器には、貴重な材料が含まれている場合があります。

また、製品が正しく安全に作動するために不可欠な特定の金属、化合物、および部品も含まれています。これらは家庭ごみとして廃棄されたり不適切に取扱いをすると、人体や環境に悪影響を及ぼす恐れがあります。したがって、家庭ごみと共に不要になった製品を廃棄しないでください。



電気および電子機器について、お住まいの自治体の指定する廃棄物処理施設に廃棄を依頼するか、弊社代理店のアドバイスを受けてください。また使用者には廃棄する家電機器に保存されている可能性がある個人情報を削除する責任があります。不要になった製品を処分するまでの間、ご自宅で保管するときは、お子様に危険が及ばないように正しく管理してください。

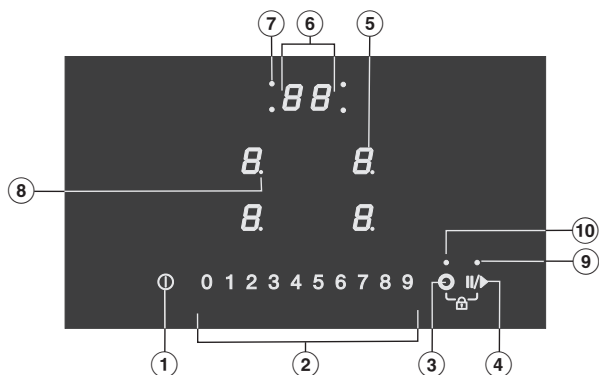
クッキングヒーター



- ① シングルサークル調理ゾーン
- ② シングルサークル調理ゾーン
- ③ ダブルサークル調理ゾーン
- ④ シングルサークル調理ゾーン
- ⑤ 操作パネルと表示ランプ

各部の名称

コントロールパネル



センサーコントロール

- ① クッキングヒーターのオン/オフ
- ② 数字キーパッド
 - 火力レベルの設定
 - 時間の設定
- ③ 拡張調理ゾーンの切り替え
- ④ Stop & Go
進行中の調理プロセスを停止/開始する
- ⑤ 調理ゾーンの選択と表示

0	調理ゾーン使用可能
1 - 9	火力レベル
≡	余熱
R	自動加熱

ディスプレイ/表示ランプ

- ⑥ タイマー表示
 - 00 - 99 時間 (分)
 - LC システムロック/セーフティロックが有効
 - dE デモモードが有効
- ⑦ 調理ゾーン割り当ての自動スイッチオフ
調理ゾーンの自動スイッチオフが有効
- ⑧ 拡張火力レベルの設定

- ⑨ Stop & Go
Stop & Go機能が有効
- ⑩ 外側のリングをオンにする
別のヒーターサークルがオンになります。

各部の名称

調理ゾーン

調理ゾーン	Ø、cm	200 Vの消費電力 (W)
①	18.0	1700
②	16.0	1100
③	12.0/21.0	1700
④	14.5	1100
		合計: 5600

初めてお使いになる前に

- 本製品に同梱の予備の型式表示シールを本書の「アフターサービス、型式表示シール」のページに貼り付けてください。
- 保護材とラベルを取り外します。

初めてお使いのときのクリーニング

- 初めて使用する前に、湿らせた布で本体を掃除し、乾いた布で水気を拭きとります。

初めてお使いになる前に

金属部品には保護コーティングが施されています。本クッキングヒーターを初めて使用したときに臭いや蒸気が発生することがあります。

発生する臭いや蒸気は、接続不良や機器の故障を示すものではなく、健康に害を及ぼすものもありません。

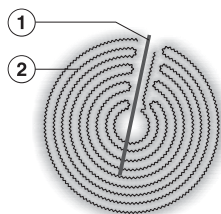
原理

シングルサークル調理ゾーンにはヒーターエレメントが1つあり、ダブルサークル調理ゾーンには2つあります。型式によっては、ヒーターエレメントが絶縁リングによって区切られています。

それぞれの調理ゾーンには過熱防止機能（温度リミッター）があり、セラミック面が熱くなり過ぎるのを防止します（「安全機能」 - 「過熱防止機能」参照）。

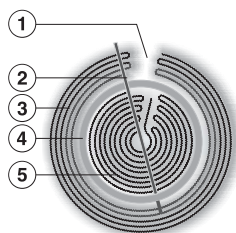
火力レベルが選択されると、ヒーターがオンになり、セラミックガラス表面を通してヒーターを見ることができます。調理ゾーンのヒーターの出力は、選択した火力レベルによって異なり、電氣的に制御されます。調理ゾーンの「タイミング」は、ヒーターエレメントをオン/オフすることで制御されます。

シングルサークルゾーン



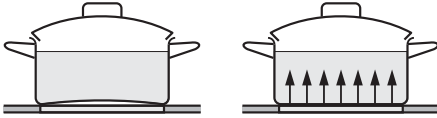
- ① 過熱防止機能
- ② ヒーターエレメント

ダブルサークルゾーン



- ① 設計上の隙間
- ② 過熱防止機能
- ③ 外側のヒーターエレメント
- ④ 絶縁リング
- ⑤ 内側のヒーターエレメント

最適な鍋は、底に厚みがあり、冷めている状態で底がわずかにへこんでいる金属性の鍋です。加熱すると、鍋底は平らになってセラミックガラスの表面にぴったりとおさまるようになり熱伝導が最適になります。



冷却時

加熱時

ガラス、セラミック、またはストーンウェア製の鍋は**あまり適していません**。これらの材質の熱伝導はあまりよくありません。

プラスチックの容器やアルミホイルは**適していません**。これらは高温で溶け出します。

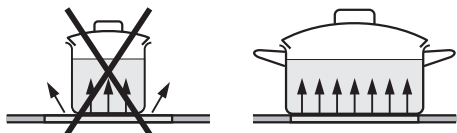
アルミニウム製または底がアルミニウムの鍋やフライパンの場合、クッキングヒーターの表面に金属の光沢が残ることがあります。これは、セラミックまたはステンレスクリーナーで除去することができます（「お手入れ」参照）。

鍋底の特性が食品の加熱の均一性に影響を与えることもあります（パンケーキを作る時など）。

- 調理ゾーンを最大限に活用するために、底の直径が適切な鍋を選ぶようにしてください（「調理ゾーン」参照）。
- 底が滑らかな鍋やフライパンのみを使用してください。鍋の底が荒いと、セラミックガラスが傷つくことがあります。
- 鍋は必ず持ち上げてください。引きずらずに持ち上げることで、傷がつくのを防ぎます。
- 製造業者が表示する最大直径とは、鍋の上部の直径を指すことも多いので、ご注意ください。鍋底の直径（一般的に他の部分より小さい）のほうがより重要です。

節電のポイント

- 熱が不必要にうばわれないように、鍋底の大きさは調理ゾーンと同じか少し大きめであることをお確かめください。



- 熱がうばわれるのを最小限に抑えるために、できる限り鍋のふたを使用してください。
- 少量を調理する時は、小さめの鍋を選びます。小さい鍋を小さい調理ゾーンで使用すると、少量を大きな鍋に入れて大きい調理ゾーンで使用するよりも消費電力を抑えることができます。
- できるだけ少量の水で調理します。
- 食品が沸騰してくるか、またはフライパンの中の油が揚げられるぐらいまで熱になったら、火力を低く設定します。
- 長時間調理する場合は、調理時間が終了する5～10分ほど前に調理ゾーンをオフにしてください。こうすることで、余熱を活用できます。
- 圧力鍋を使用すると調理時間を短縮することができます。

本製品は出荷時、9段階の火力レベルで設定されています。設定を微調整したい時は、火力レベルの範囲を17段階に拡張することができます（「プログラミング」参照）。

	設定	
	工場出荷時 設定 (9段階の火 力レベル)	拡張 設定 (17段階の火 力レベル)
バターやチョコレートなどを溶かす ゼラチンを溶かす	1-2	1-2.
少量の食材または液体を温める 焦げ付きやすい食べ物を保温する ご飯を炊く	1-3	1-3.
液体または半固形の食材を温める オランダーズソースなどのソースを煮詰める お粥をつくる 卵焼きや焦げ目の少ない目玉焼きをつくる 果物を蒸す	2-4	2-4.
冷凍食品を解凍する 野菜や魚を蒸す 団子や豆類を調理する パイオンや豆スープをつくる	3-6	3-5.
大量の食材を煮立てる	4-6	4.-5.
肉、魚、ソーセージ、目玉焼きなどをやさしく炒める（脂分を炒め過ぎない）。	6-7	6-7.
ポテトフリッターやパンケーキなどを調理する	7-8	7-8.
大量の水を沸騰させる 大量の肉をさっと焼き上げる 沸騰させる	8-9	8-9.

これらの設定はあくまでも参考としてください。約4人前の目安です。深鍋を使用する場合、量が多い場合、蓋をしないで調理する場合は、高めの火力レベル設定が必要です。量が少ない場合は、低い火力レベルを設定してください。

操作


操作方法

本製品には、指の接触に反応する電子センサーコントロールが装備されています。安全上の理由から、本製品の電源を入れるために、オン/オフ①センサーを他のセンサーよりも少し長く触らなくてはならないようになっています。センサーを押すたびに音が鳴ります。

電源をオフにすると、キーパッドに印字されている記号と数字のみが見えます。電源をオンにすると、他のセンサーも光ります。

火力レベルを設定または変更するには、調理ゾーンが「有効」になっている必要があります。調理ゾーンを有効にするには、関連する調理ゾーンの表示に触れます。触れると、関連する調理ゾーンの表示ランプが点滅します。表示ランプが点滅している間に、火力レベルを設定または調整するか、時間を設定します。

例外: 調理ゾーンの1つだけが作動している場合は、調理ゾーンを有効にすることなく火力レベルの設定を変更できます。


 汚れたり覆われたりしているセンサーコントロールによる誤動作のおそれがあります。

センサーコントロールが汚れていたり覆われていると、反応しない、機能を作動させる、機器を自動的にオフにするといったことが起こる場合があります（「安全性機能」 - 「安全のためのスイッチオフ機能」参照）。センサーコントロール/表示ランプに熱い調理器具を置くと、下の電子ユニットが損傷するおそれがあります。

センサーボタンと表示ランプを清潔に保ってください。

センサーボタンや表示ランプの上に物を置かないでください。

センサーコントロールや表示ランプの上に熱い調理器具を置かないでください。

 熱くなり過ぎた食材による火災の危険性。

食べ物を放置すると、熱くなりすぎて引火することがあります。

使用中は本製品のそばを離れないでください。

電源を入れる

- センサー①を少し長めに押します。

他のセンサーが光ります。

そのまま何もしない場合、安全上の理由から、本体の電源は数秒後に自動的にオフになります。

火力レベルを設定する

- 使用する調理ゾーンの上に鍋を置きます。

- 関連する調理ゾーンの表示に触れます。

調理ゾーンの表示が点滅します。

- 設定したい火力レベルの数字のキーパッドで設定したいレベルの数字に触れてください。

選択した火力レベルが調理ゾーンの表示部で数秒間点滅し、その後点灯します。

火力レベルを変更する

- 関連する調理ゾーンの表示に触れます。

調理ゾーンの表示が点滅します。

- 設定したい火力レベルの数字のキーパッドで設定したいレベルの数字に触れてください。

調理ゾーンをオフにする

- 調理ゾーンをオフにするには、関連する調理ゾーンの表示に触れます。

調理ゾーンの表示が点滅します。

- 数字のキーパッドの0のセンサーコントロールに触れます。

- 本体とすべての調理ゾーンをオフにする場合は、①センサーに触れます。


操作

余熱表示

調理ゾーンがまた高温の場合、調理ゾーンをオフにした後、余熱表示が点灯します。

余熱表示のバーは、調理ゾーンが冷めるにつれ、一本ずつ消えていきます。調理ゾーンに触れても安全な状態になったとき、最後のバーが消えます。

余熱表示は、操作中や余熱の表示中に停電が発生した場合、点滅します。

 熱い調理ゾーンによるやけどのおそれ。

調理ゾーンは使用後でもまだ熱くなっています。

余熱表示が示されているうちは、調理ゾーンに触らないでください。

火力レベル設定 - 拡張火力レベル設定

- 2つの数字センサーの間にある数字のキーパッドに触れます。

選択した火力レベルが数秒間点滅し、その後点灯します。中間設定を行うと数字の隣のランプが点灯します。

拡張調理ゾーン/外側のリングをオンにする

ダブルサークル調理ゾーン:

ダブルサークル調理ゾーンをオンにすると、2番目のヒーターサークルが自動的にオンになります。

表示ランプ:

マルチサークル調理ゾーンがオンになっていることを示す表示ランプが点灯します。

拡張した調理ゾーンをオフにする

- 必要な調理ゾーンの表示部に軽く触れません。

調理ゾーンの表示が点滅し、拡張調理ゾーンの表示ランプが点灯します。

- 調理ゾーンの表示部が点滅している間に、拡張調理ゾーンの表示ランプが消えるまで、**◎**センサーに繰り返し触れます。

拡張した調理ゾーンをオンにする

- 必要な調理ゾーンの表示部に軽く触れません。

調理ゾーンの表示が点滅します。

- 調理ゾーンの表示部が点滅している間に、**◎**コントロールに触れます。

拡張調理ゾーンの表示ランプが点灯します。

- 希望の火力レベルを設定します。

操作

自動加熱

自動加熱が有効の場合、調理ゾーンは最も高い設定で自動的にオンになり、その後、選択した連続調理火力レベルに切り替わります。加熱時間は、選択した連続調理火力レベルによって異なります（次頁の表を参照）。

自動加熱を有効にする

- 必要な調理ゾーンの表示部に軽く触れます。
- 調理ゾーンのディスプレイで音が鳴り、**A**が点灯するまで、希望の連続調理火力レベルのセンサーに触れます。

加熱中は、**A**と選択した連続調理火力レベルが調理ゾーンの表示部で交互に点滅します（図をご参照）。

調理ゾーンの加熱中に連続調理火力レベル設定を変更すると、自動加熱が無効になります。

自動加熱を無効にする

- 必要な調理ゾーンの表示部に軽く触れます。
- **A**が消えるまで、設定した連続調理火力レベルに触れます。

または

- 別の火力レベルを設定します。

連続調理火力レベル*	加熱時間 [分：秒]
1	1:20
1.	2:00
2	2:45
2.	3:25
3	4:05
3.	4:45
4	5:30
4.	6:10
5	6:50
5.	7:10
6	1:20
6.	2:00
7	2:45
7.	2:45
8	2:45
8.	2:45
9	-

* 数字の後に点のある連続調理火力レベルは、火力レベルが拡張されている場合のみ、利用できます（「プログラミングを参照」）。高い連続調理火力レベルは通常、食材を炒めるまたは揚げるために使用するため、鍋を最初に加熱する時間は比較的短くて済みます。

タイマーを使いたい場合は、電源をオンにする必要があります。

タイマーは、次の2つの機能に使用できます。

- キッチンタイマーの設定
- 調理ゾーンの自動スイッチオフ機能

これらの機能は同時に使用できます。

時間は1分 (01) から99分 (99) まで設定できます。

入力は分の10の位、1の位の順に行います。

数字キーパッドを使用して値を入力します。

例：

59分 = 入力方法：5-9

80分 = 入力方法：8-0

最初の数字を入力すると、タイマー表示部が点灯します。2番目の数字を入力すると、最初の数字が左に移動します。

キッチンタイマー

キッチンタイマーを設定する

- タイマー表示部にタッチします。

タイマー表示部が点滅します。

- 必要な時間を設定します。

キッチンタイマーを開始するには10秒待ちます。

キッチンタイマーの時間を変更する

- タイマー表示部にタッチします。

タイマー表示部が点滅します。

- 必要な時間を設定します。

キッチンタイマーの時間を削除する

- タイマー表示部にタッチします。

- 数字キーパッドの0をタッチします。

タイマー

自動スイッチオフ

調理ゾーンが自動的にオフになるまでの時間を設定できます。この機能はすべての調理ゾーンで同時に使用することができます。

プログラムされた時間が有効な最大稼働時間よりも長い場合、安全のためのスイッチオフ機能により調理ゾーンがオフになります（「安全性機能」-「安全のためのスイッチオフ機能」参照）。

スイッチオフ時間を設定する

- 使用する調理ゾーンの火力レベルを選択します。
- この調理ゾーンの割り当て表示ランプが点滅するまで、タイマー表示を繰り返しタッチします。

複数の調理ゾーンを使用している場合、表示ランプは左側手前のゾーンから時計回りに点滅します。

この調理ゾーンの調理ゾーン割り当て自動スイッチオフ表示ランプが点滅します。

- 必要な時間を設定します。

10 秒待つと、スイッチオフ時間が開始されます。

調理ゾーンの表示ランプが点灯します。

- 別の調理ゾーンのスイッチオフ時間を設定するには、上記と同じ手順に従います。

複数のスイッチオフ時間をプログラムしている場合は、最も短い残り時間が表示され、対応する表示ランプが点滅します。他の表示ランプは点灯します。

- バックグラウンドでカウントダウンしている別の調理ゾーンの残り時間を表示したい場合は、そのゾーンの表示ランプが点滅するまでタイマー表示部を繰り返しタッチします。

スイッチオフ時間を変更する

- 必要な調理ゾーンの表示ランプが点滅するまで、タイマー表示部を繰り返しタッチします。

タイマー表示部が点滅します。

- 必要な時間を設定します。

スイッチオフ時間を削除する

- 必要な調理ゾーンの表示ランプが点滅するまで、タイマー表示部を繰り返しタッチします。

タイマー表示部が点滅します。

- 数字キーパッドの **0** をタッチします。

両方のタイマー機能を同時に使用する

オフ時間を1つ以上プログラムして、キッチンタイマーも使用する場合：

- プログラムした調理ゾーンが表示ランプが点灯し、タイマーの表示部で **00** が点滅するまで、タイマーの表示部に繰り返し触れません。
 - 前述の通りに時間を設定します。
- キッチンタイマーを設定していて、さらにオフ時間を1つ以上プログラムする場合：
- 必要な調理ゾーンが表示ランプが点滅するまで、タイマーの表示部に繰り返し触れません。
 - 前述の通りに時間を設定します。

最後の入力の直後に、タイマーの表示は残り時間が最も短い機能に切り替わります。

バックグラウンドでカウントダウンされている残り時間を表示する場合：

- 次が起こるまで、タイマーの表示部を繰り返しタッチします：
 - 必要な調理ゾーンが表示ランプが点滅する（自動スイッチオフ）
 - タイマーの表示部が点滅する（キッチンタイマー）

表示される残り時間が最も短いものから始まり、オンになっているすべての調理ゾーンとキッチンタイマーが時計回りに表示されません。

その他の機能

Stop & Go

Stop & Go (ストップ&ゴー) が有効になると、使用中のすべての調理ゾーンは火力レベル1まで低下します。

調理ゾーンの火力レベルとタイマーの設定は変更できず、電源をオフにすることしかできません。キッチンタイマー、オフ時間は引き続き実行されます。

Stop & Goが無効になると、調理ゾーンは前に選択した火力レベルで稼働します。

この機能が1時間以内に解除されないと、電源はオフになります。

有効/無効にする

- II▶ センサーコントロールをタッチします。

センサーを素早く掃除する必要がある場合はこの機能を使用してください。

呼び戻し

クッキングヒーターを使用中に誤ってオフにしてしまったら、この機能を使用してすべての設定を再び設定できます。これを機能させるには、オフにしてから10秒以内に電源を再びオンにする必要があります。

- 再度電源を入れます。
- 電源をオンにしたらずぐに、点滅している調理ゾーンのセンサーコントロールの1つに触れます。

デモモード

この機能により、本体を加熱することなくシヨールームで実演することができます。

デモモードを有効/無効にする

- 本体の電源を入れます。
- 数字キーパッドの0と2のセンサーボタンを同時に6秒間押します。

タイマーのディスプレイで、*dE*が*On*（デモモード有効）または*Off*（デモモード無効）と交互に数秒間点滅します。

クッキングヒーターのデータを表示する

クッキングヒーターのモデル番号とソフトウェアバージョンを表示できます。クッキングヒーターの上に鍋やフライパンを置いてはいけません。

型式番号/製造番号

- 本体の電源を入れます。
- 数字キーパッドの0と4のセンサーボタンを同時に6秒間押します。

それぞれの数字はダッシュで区切られて、タイマーの表示部に順番に表示されます。

例: *12 34* (型式番号KM 1234) -
123 45 67 89 (製造番号)

ソフトウェアバージョン

- 本体の電源を入れます。
- 数字キーパッドの0と3のセンサーボタンを同時に6秒間押します。

数字は、タイマーの表示部に、点滅しながら順番に表示されます。

例: *12*と*3*が交互に点滅= ソフトウェアバージョン123。

安全性機能

システムロック/セーフティロック

本製品はシステムロックとセーフティロックを備えており、誤って本体や調理ゾーンがオンにされたり、設定が変更されたりするのを防ぎます。

システムロックは電源をオフにすると作動します。システムロックが作動すると、電源をオンにしたり、タイマーを使用することができなくなります。キッチンタイマーが設定されている場合、時間はカウントダウンを続けます。本製品は、システムロックを手動でしか有効にできないようにプログラムされています。電源をオフにしてから5分後に自動的に作動するようにシステムロックを設定することができます（「プログラミング」参照）。

セーフティロックは電源をオンにすると作動します。セーフティロックが作動すると、機器は一定の条件下でしか操作できません：

- 調理ゾーンと本体は、オフにすることしかできません。
- 設定されたキッチンタイマーの時間は変更できません。

システムロックまたはセーフティロックが作動している間に利用できないセンサーコントロールにタッチすると、*LC* が数秒間タイマー表示部に表示され、音が鳴ります。

システムロックを有効にする

- ①センサーを6秒間押します。

秒数はタイマーの表示部でカウントダウンされます。この時間が経過すると、*LC*がタイマー表示部に表示されます。システムロックが有効になります。

システムロックを無効にする

- ①センサーを6秒間押します。

*LC*がタイマー表示部で短く表示され、秒数がカウントダウンされます。この時間が経過すると、システムロックが無効になります。

セーフティロックを有効にする

- ◎とII▶のセンサーを同時に6秒間押します。

秒数はタイマーの表示部でカウントダウンされます。この時間が経過すると、*LC*がタイマー表示部に表示されます。セーフティロックが有効になります。

セーフティロックを無効にする

- ◎とII▶のセンサーを同時に6秒間押します。

*LC*がタイマー表示部で短く表示され、秒数がカウントダウンされます。この時間が経過すると、ロック機能が無効になります。

安全のためのスイッチオフ機能

センサーが覆われている場合のスイッチオフ機能

1つまたは複数のセンサーが10秒以上覆われた場合、例えば、指先が触れていたり、煮こぼれ、または鍋つかみやふきんなどで覆われた場合、本体は自動的に電源が切れます。Fがタイマーの表示部に数秒間表示されます。①センサーボタンの場合は、物または汚れが除去されるまで、Fが点灯します。

Fは、物を除去するまたは操作部をきれいにすると、表示は消えてクッキングヒーターが再び使用できる状態になります。

最大稼動時間を超過した場合の切り忘れ防止機能

切り忘れ防止機能は、調理ゾーンが異常に長時間加熱されると自動的に作動します。最大稼動時間は、選択した火力レベルによって異なります。時間が超過すると、調理ゾーンがオフになり、余熱表示が出ます。調理ゾーンのオンとオフを再び切り替えると、再び稼動できます。

本製品の安全設定は、出荷時に安全レベル0にされています。必要に応じて、最大稼動時間を短くし、より安全に設定することができます（次頁の表を参照）。

火力レベル*	最大稼動時間 [時:分]		
	安全レベル		
	0**	1	2
1	10:00	8:00	5:00
1.	10:00	7:00	4:00
2/2.	5:00	4:00	3:00
3/3.	5:00	3:30	2:00
4/4.	4:00	2:00	1:30
5/5.	4:00	1:30	1:00
6/6.	4:00	1:00	0:30
7/7.	4:00	0:42	0:24
8	4:00	0:30	0:20
8.	4:00	0:30	0:18
9	1:00	0:24	0:10

* 数字の後に点のある火力レベルは、火力レベル範囲が拡張されている場合にのみ、利用できます（「プログラミング」参照）。

** 工場出荷時設定

安全性機能

各調理ゾーンに過熱防止機能が搭載されています（内部温度リミッター）。これにより、過熱する前に調理ゾーンのヒーターエレメントが自動的にオフになります。調理ゾーンの温度が冷めるとすぐに、ヒーターが再び自動的にオンになります。

過熱防止機能は、以下の状況で作動する可能性があります。

- 有効な調理ゾーンに調理器具がない。
- 加熱されている調理器具が空である。
- 調理器具の底が調理ゾーンに平らに置かれていない。
- 調理器具の伝導率が悪い。

最も高い火力レベルを選択している場合でも、ヒーターエレメントがオン/オフに切り替わるため、過熱防止機能が作動したことがわかりません。

必要に応じて機器のプログラミングを変更できます。いくつかの設定は連続で変更できます。

プログラムモードにアクセスすると、P（プログラム）とC（コード）がタイマーの表示部に表示され、2つの調理ゾーンが表示されます。

プログラムは左の調理ゾーンに、コードは右の調理ゾーンに、表示されます。プログラムステージ 10からは、1と0が数字で交互に点滅表示されます。

プログラムを変更する

プログラムモードにアクセスする

- 本体の電源が**オフ**の状態、タイマー表示部にPCが表示されて2つの調理ゾーンディスプレイが点灯するまで、①センサーボタンとII▶センサーボタンの両方を同時に押し続けます。

プログラムを設定する

- 最初に**左**の調理ゾーン表示部に触れて、次に数字キーパッドの関連する番号に触れます。

数字の横で点が点滅します。

- 点が点滅している間に、プログラム番号に対応する数字キーパッドの数字を押します。

コードを設定する

- 最初に**右**の調理ゾーンの表示部に触れて、次に数字キーパッドの関連する番号に触れます。

数字の横で点が点滅します。

- 点が点滅している間に、コードに対応する数字キーパッドの数字を押します。

設定を保存する

- ①センサーボタンを、表示ランプが消えるまで押します。

プログラミング

プログラム ¹		コード ²	設定
1	デモモード	0	デモモード オフ
		1	デモモード オン ³
3	工場出荷時設定	0	工場出荷時設定に戻さず
		1	工場出荷時設定に戻す
4	調理ゾーンの火力レベル数	0	9段階の火力レベル + Booster
		1	17段階の火力レベル + Booster ⁴
6	センサーコントロールにタッチした時の音	0	オフ ⁵
		1	小
		2	中
		3	大
7	タイマーのブザー	0	オフ
		1	小
		2	中
		3	大
8	システムロック	0	手動でのみシステムロックを有効にする
		1	自動でシステムロックを有効にする

プログラム ¹		コード ²	設定
9	最大稼働時間	0	安全レベル 0
		1	安全レベル 1
		2	安全レベル 2
12	センサーコントロールの反応速度	0	遅い
		1	標準
		2	速い

¹ このリストにないプログラムは割り当てがありません。

² 太字は工場出荷時設定コードです。

³ 電源を入れると、*dE* が数秒間タイマー表示部に表示されます。

⁴ 説明文や表の中で、拡張火力レベルは数字の後に点がついて記載されています。

⁵ オン/オフセンサーコントロールの操作音はオフにできません。

清掃とお手入れ

! 熱い調理ゾーンによるやけどのおそれ。

調理ゾーンは使用後もまだ熱くなっています。

電源を切ります。

クッキングヒーターを掃除する前に、調理ゾーンを冷ましてください。

! 湿気の侵入による破損のおそれ。

スチームクリーナーからの蒸気が通電している電気部品に到達し、ショートを引き起こす可能性があります。

本製品の掃除には、スチームクリーナーを使用しないでください。

不適切な洗剤を使用すると、表面の変色または損傷するおそれがあります。表面は傷つきやすくなっています。

洗剤の残留物はすべてすぐに除去してください。

研磨剤の入ったスポンジや洗剤は絶対に使用しないでください。

清掃する前に、クッキングヒーターを冷ましてください。


- 使用後に毎回清掃してください。
- カルキの付着を避けるため、水で清掃した後しっかりと拭いて乾かしてください。

不適切な洗剤

本製品表面の損傷を防ぐために、次の洗剤は使用しないでください。

- 食器用洗剤
- 酸化ナトリウム、アルカリ、アンモニア、酸、塩化物を含有するクリーナー
- カルキ除去剤を含むクリーナー
- しみまたはサビ落し剤
- 粉またはクリーム状の研磨剤
- 溶剤を含む洗剤
- 食器洗い機用クリーナー
- オープン用スプレー
- ガラス用クリーナー
- ポット用のたわしのような硬いブラシやスポンジ、研磨剤をつけて使用したことがあるブラシやスポンジなど
- メラミン製スポンジ

セラミックガラスの表面の掃除


 尖った物による損傷のおそれ。クッキングヒーターとキッチンカウンターとの間のシールが損傷する可能性があります。セラミック面とフレームの間のシールが損傷する可能性があります。掃除に尖った物を使わないでください。

食器用洗剤を使用してすべての汚れや残留物を除去できるわけではありません。目に見えない膜が張り、ガラスセラミックの表面が変色するおそれがあります。この変色を除去することはできません。専用のセラミックガラス用クリーナーでセラミックの表面を定期的に掃除してください。

- 軽い汚れは湿った布で除去し、しつこい汚れはガラスに適したシールド付きスクレーパーで除去します。
- 次に、ミーレのセラミック・ステンレスクッキングヒーター用クリーナー（「アクセサリーと洗剤」参照）や市販のガラスセラミッククリーナーをキッチンペーパーやきれいな布に塗布して、セラミックガラス面を掃除します。本体がまだ熱いうちにクリーナーを使用すると染みになるおそれがあるため、冷めるまでお待ち下さい。クリーナーのメーカーの指示に従ってください。
- 最後に湿った布でガラスセラミックの表面を拭き、きれいな柔らかい乾いた布で乾かします。

表面にクリーナーが残っていると、次に使用する際に焦げ付いてセラミックガラスの表面を損傷することがあります。クリーナーの残留物をすべて落とすようにしてください。

- カルキ、水、アルミニウムの残留物（金属のような斑点）による**しみ**は、ミーレのセラミック・ステンレスクッキングヒーター用クリーナーで落とすことができます。

 熱い調理ゾーンによるやけどのおそれ。

調理ゾーンは使用中、熱くなります。シールド付きスクレーパーで熱いセラミックガラスの表面から砂糖、プラスチック、またはアルミホイルの残留物を除去する際は、手袋などを着用してください。

- 使用中に**砂糖、プラスチック、またはアルミホイル**が熱いセラミックの表面に落ちた場合は、電源をオフにしてください。
- その後**すぐに**ガラスに適したスクレーパーを使用して、まだ熱いうちにこれらの残留物をていねいにこすり落としてください。
- セラミックの表面が冷めてから前述の方法で掃除をしてください。

こんなとき、どうしたらいい？

日常の使用で発生する本体の性能に関する小さな不具合などは、間違った操作が原因の場合もあります。

以下のトラブルシューティングガイドにより、故障の原因を見つけ、直すことが出来る場合があります。ただし、次の注意点には十分ご留意ください。修理およびその他の作業を非専門技術者が行った場合、使用中に大きな危険を引き起こす可能性があります。電気機器の修理は、必ず地域および国の安全基準に厳密に従って、適任な有資格者が行わなければいけません。

ディスプレイのメッセージ

問題	原因および対策
本体の電源を入ると、 LC が数秒間タイマーディスプレイに表示される。	システムロックまたはセーフティロックが有効になっています。 ■ システムロックまたはセーフティロックを無効にします（「システムロック/セーフティロック」参照）。
本体の電源を入ると、 dE が短くタイマー表示部に表示されます。調理ゾーンが加熱されない。	デモモードで稼動しています。 ■ タイマーの表示部で dE と DF が交互に点滅するまで、0と2のセンサーボタンに同時に触れます。
F がタイマーの表示部で点滅し、本体の電源が自動的に切れる。	複数のセンサーコントロールを、指で触っていたり、食べ物が吹きこぼれていたたり、物がかぶさっていたりして覆われています。 ■ 汚れをきれいにし、物があったら取り除きます（「安全のためのスイッチオフ」参照）。

こんなとき、どうしたらいい？

予期しない動作

問題	原因および対策
調理ゾーンの1つのヒーターエレメントがオンとオフに切り替わる。	ヒーターエレメントの入/切は正常です。これは、温度をコントロールするための機能によるものです。（「調理ゾーンの機能」参照）。 最高の火力レベルで加熱がオン、オフに切り替わった場合は、過熱防止機能が作動しています（「過熱防止機能」参照）。
調理ゾーンが自動でオフになる。	稼働時間が長すぎました。 ■ 調理ゾーンの電源を入れ直せば、再度使用できます。（「安全のためのスイッチオフ」を参照）。
1つまたは複数の余熱表示が点滅する。	作動中または余熱がある時に電源が遮断されました。

期待通りの結果にならない

問題	原因および対策
自動加熱機能がオンの時、鍋の中身が加熱されない。	鍋の中身が多過ぎます。 ■ 最高の火力レベルで調理を初め、後から手で火力レベルを下げてください。
	鍋の伝導率が悪い。 ■ 適切に熱を伝導する別の鍋またはフライパンを使用します。
鍋の中の食べ物ほとんど加熱されていない、またはまったく加熱されていない。	鍋の伝導率が悪い。 ■ 適切に熱を伝導する別の鍋またはフライパンを使用します。
	鍋が調理ゾーンに対して大きすぎます。 ■ 小さな鍋を使います。
	ダブルサークルゾーンの外側リングがオンになっていない。 ■ 外側のリングをオンにします。

こんなとき、どうしたらいい？

一般的な問題または技術的な障害

問題	原因および対策
本体や調理ゾーンの電源が入らない。	電気が本体にきていません。 ■ ヒューズが短絡しているかどうかを確認します。電気技術者またはミーレのサービスまでご連絡ください（定格消費電力については、型式表示シール参照）。
	技術的な障害が発生している可能性があります。 ■ 以下のいずれかの方法で1分程度、本体から電源を遮断してください。 <ul style="list-style-type: none">- コンセントからプラグを抜きます。- ブレーカーを落とします。 ■ 電源のブレーカーをリセットしても電源が入らないようであれば、資格を持つ電気技術者またはミーレのサービスまでご連絡ください。
新しいクッキングヒーターを使用中に臭いや蒸気が発生する。	金属部品には保護コーティングが施されています。本クッキングヒーターを初めて使用したときに臭いや蒸気が発生することがあります。発生する臭いや蒸気は、接続不良や本製品の故障を示すものではなく、健康に害を及ぼすものでもありません。

ミーレは本製品で使用できる便利なアクセサリ
一品や洗剤をご用意しています。

これらの製品は、ミーレオンラインショップで
ご注文いただけます。

ミーレ・カスタマーサービス（連絡先情報につ
いては裏表紙を参照）またはミーレ代理店にご
注文いただくことも可能です。

お手入れ用品

セラミックとステンレスクッキングヒー ター用クリーナー、250 ml


頑固な汚れ、水アカ、アルミニウム残留物を除
去します。


マイクロファイバークロス


指紋や軽い汚れを落とします。

設置

電源接続と設置

 誤った接続による損傷のおそれがあります。
設置が誤っていると、本機器を損傷するおそれがあります。
本機器は有資格者のみが設置できます。

 感電のおそれがあります。
主電源への誤った接続は、感電を引き起こすおそれがあります。
本機器を電源に接続できるのは、資格のある電気技術者のみです。

 落下物による損傷のおそれ。
本製品の上でウォールキャビネットやレンジフードを取り付ける時は、クッキングヒーターを損傷しないように注意してください。
ウォールキャビネットとレンジフードはクッキングヒーターの設置前に取り付けます。

キッチンカウンター（または隣接するキッチンキャビネット）のベニヤまたはラミネートコーティングは、溶けたりゆがんだりしない100℃の耐熱接着剤で処置する必要があります。背面は耐熱材料でなければいけません。

本製品は冷蔵庫、冷凍冷蔵庫、冷凍庫、食器洗い機、洗濯機、洗濯乾燥機、乾燥機の上に設置してはいけません。

取り付け後は、何かが電源コードに接触することのないようにし、また、障害物がないようにしてください。

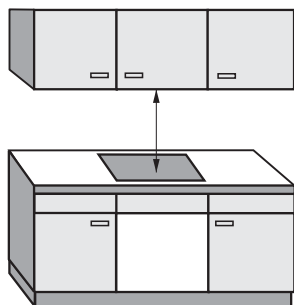
電源コードは、可動するキッチンキャビネット（引き出しなど）と接触したり、損傷を引き起こすような機械的な閉塞にさらされることがあってはいけません。

以下に記載されている安全な離隔距離に注意してください。

詳しくは「設置・施工手順書」を参照してください。

安全な離隔距離

クッキングヒーター上方の安全な離隔距離



レンジフードのメーカーによって指定された安全な離隔距離が、クッキングヒーターとその上のレンジフードの間に維持される必要があります。

可燃物（キャビネット、器具、レールなど）がクッキングヒーターの上に設置されている場合は、最小安全離隔距離**1000 mm**を維持します。

安全な離隔距離の異なる複数の機器をレンジフードの下に一緒に設置する時は、その中で一番長い安全な離隔距離を守る必要があります。詳しくは「設置・施工手順書」を参照してください。

設置

クッキングヒーターの側面と背面までの安全な離隔距離

両側に十分なスペースを確保しながらクッキングヒーターを取り付けることをおすすめします。

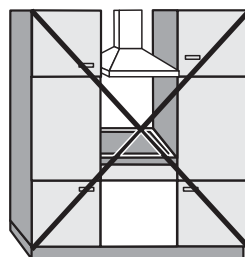
下に示す最小の離隔距離①を、クッキングヒーターの背面とトールユニットまたは壁の間で維持します。

下に示す最小の離隔距離②, ③を、トールユニットまたはクッキングヒーターの左または右の壁（反対側の最小離隔距離200 mm）の間で、維持します。

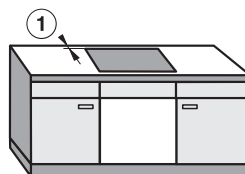
① キッチンカウンターの開口部の背面とキッチンカウンターの後端部間の最小離隔距離: 200 mm

② キッチンカウンターの開口部とキッチンカウンターの右の壁またはトールユニット間の最小離隔距離: 200 mm

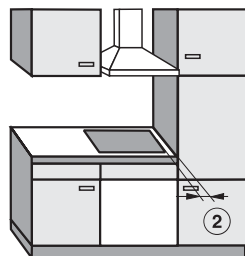
③ キッチンカウンターの開口部とキッチンカウンターの左の壁またはトールユニット間の最小離隔距離: 200 mm



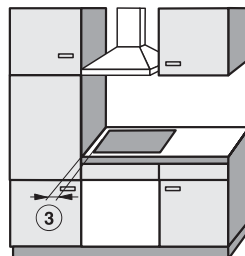
不可



推奨



推奨せず



推奨せず

底板

クッキングヒーターの下に底板を取り付ける必要はありませんが、必要に応じて取り付けることができます。

底板をクッキングヒーターの下に取り付ける場合は、キッチンカウンターの上部と底板の上部の間に最小110 mmの隙間が必要です。

電源コードを収納するために、底板との隙間は20 mmあけます。詳しくは「設置・施工手順書」を参照ください。

設置

被覆材を追加した壁の近くに設置する場合の安全距離

熱による損傷を防ぐため、キッチンカウンターの開口部と被覆材の間で最小安全距離を維持します。

被覆材が可燃性材料（木材など）でできている場合、開口部と被覆材の間に50 mmの最小安全距離⑤を維持します。

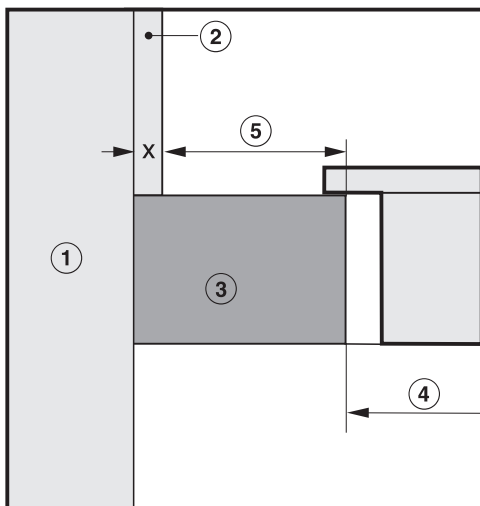
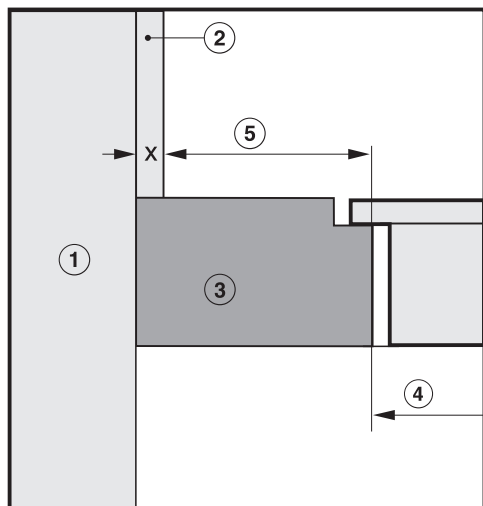
被覆材が不燃性材料（金属、天然石、セラミックタイルなど）でできている場合、開口部と被覆材の間の最小安全距離⑤は、被覆材の厚さより50 mm小さくなります。

例: 15 mmの被覆材

50 mm - 15 mm = 最小安全距離35 mm

フラッシュ設置されたクッキングヒーター

カウンター表面設置されたクッキングヒーター



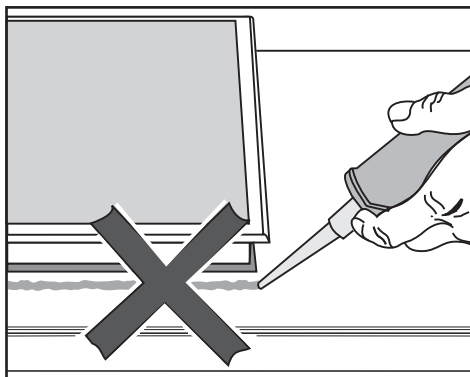
- ① 石
- ② 被覆材の寸法 x = 被覆材の厚さ
- ③ キッチンカウンター
- ④ キッチンカウンターの開口部
- ⑤ 最小距離

可燃性材料 50 mm

不燃性材料 50 mm - 寸法 x

設置上の注意

本体とキッチンカウンター間のシール



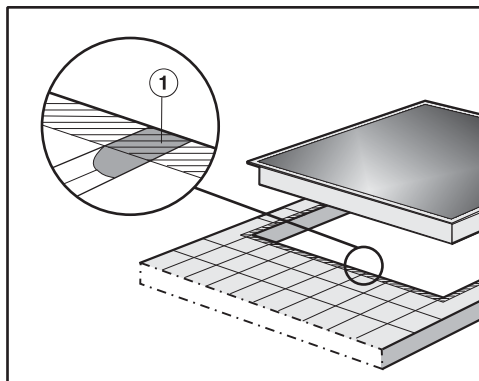
⚠ 誤った設置による損傷。

クッキングヒーターの下にシーリング材を使用すると、クッキングヒーターを点検修理のために取り外す必要がある場合に、クッキングヒーターとキッチンカウンターが損傷する可能性があります。

クッキングヒーターとキッチンカウンターの間にはシーリング材を使用しないでください。

キッチンカウンターのシールは、本体上部の縁の下にあるシールストリップだけで十分です。

タイルのキッチンカウンター



目地①とフレームの下の斜線部分は滑らかで均一でなければなりません。そのような状態になっていない場合、クッキングヒーターがキッチンカウンターにぴったり設置されず、機器下のシールストリップがカウンターとの間を十分にシリーグしません。

シールストリップ

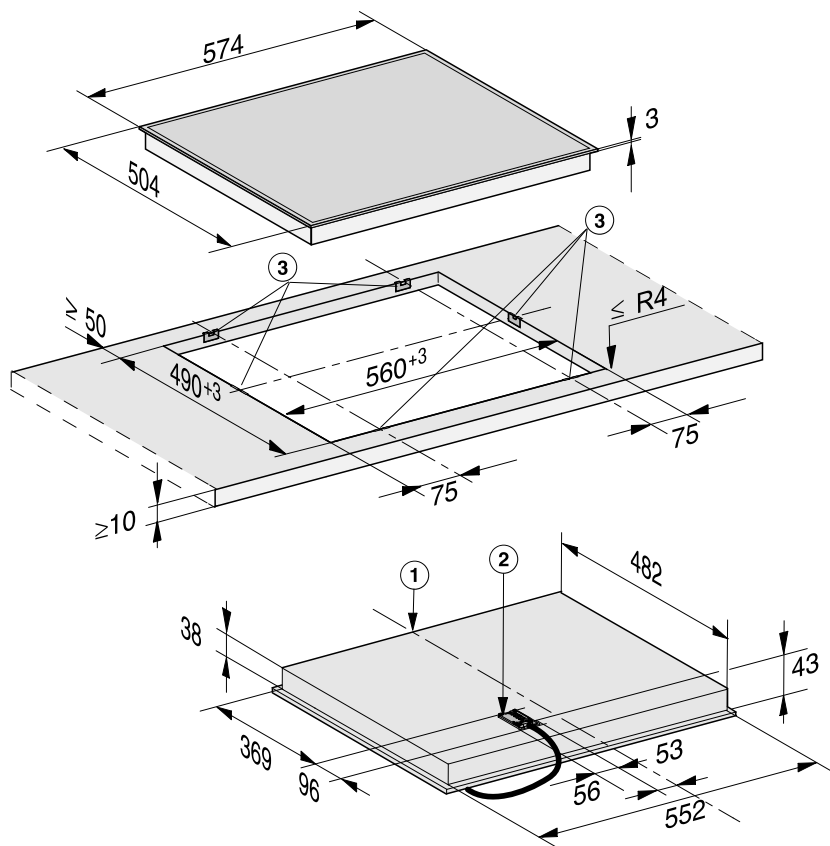
サービス目的で本製品を取り外した際に、本製品の縁下のシールストリップが破損する場合があります。

本製品を取り付け直す前に、必ずシールストリップを交換してください。

設置

ビルトイン寸法

すべての寸法はmm表示です。



- ① 前面
- ② 電源コード付き電源接続ボックス
長さ 1850 mm の電源コード
- ③ スプリングクランプ

設置

キッチンカウンターを準備する

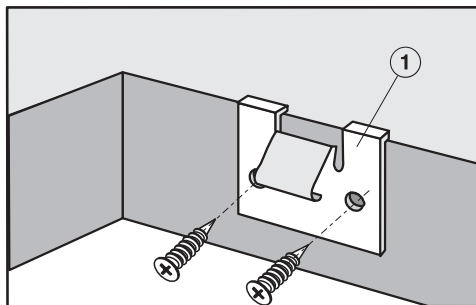
- キッチンカウンターに開口部をつくりま
す。必ず最小離隔距離を守ってください
(設置施工手順書参照)。
- **木製のキッチンカウンター** については、
湿気による木材の膨張を防ぐため、切断面
を特殊なニス、シリコンシーリング材、ま
たは樹脂でシーリングをしてください。耐
熱のシーリング材を使います。

シーリング材がキッチンカウンターの上部
に接触しないようにしてください。

本機器の下のシールによって、クッキングヒ
ーターが滑ることなく開口部にしっかりと設
置されます。機器のフレームとキッチンカウ
ンターの間の隙間は、時間と共に狭くなって
いきます。

スプリングクランプを固定する (木製の キッチンカウンター)

スプリングクランプの正確な位置は、ビルト
イン寸法図に示されています。



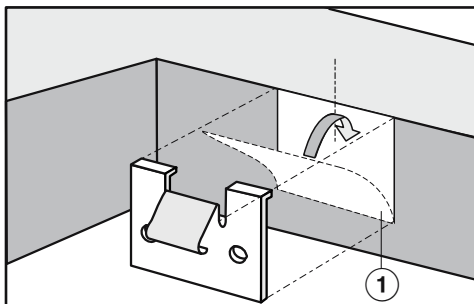
- 寸法図通りの位置で、開口部の上端にスプ
リングクランプ ① を配置します。
- 本機器に付属の 3.5 x 25 mm の木ねじを
使用して、スプリングクランプ ① を固定し
ます。

設置

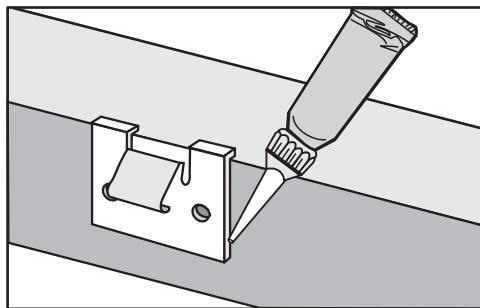
スプリングクランプを固定する（天然石のキッチンカウンター）

スプリングクランプを固定するには、強い両面粘着テープ（クッキングヒーターには含まれていません）が必要になります。

スプリングクランプの正確な位置は、ビルトイン寸法図に示されています。



- 寸法図通りの位置で、開口部の上端に沿って粘着テープ①を貼り付けます。
- スプリングクランプを開口部の上端に合わせて、しっかりと押し込みます。



- スプリングクランプの側部と下端をシリコンでコーティングします。

本体の設置

- 本体の電源コードをキッチンカウンターの開口部に通します。
- キッチンカウンターの開口部にクッキングヒーターを配置します。
- 両手を使って、カチッと音がするまでクッキングヒーターの両側を均等に押し下げます。これを行う際は、本機器のシールがすべての側面でキッチンカウンターにぴったりくっつくようにしてください。これは周囲を確実にシーリングするために重要です。

シールがキッチンカウンターにうまく合わない場合は、注意して角のアール（ $\leq R4$ ）を調整してください。

本体に追加でシーリング材（シリコンなど）を使用しないでください。

- 本体を電源に接続します。
- 本体の作動を確認します。

クッキングヒーターは特別な工具を使わないと外せません。

電源接続

 誤った接続による損傷の危険。

許可されていない設置、メンテナンス、修理により、大きな危険が生じるおそれがあります。

ミーレは、許可されていない設置、メンテナンス、修理、不十分または不完全な現場の接地によって引き起こされた損害やけが（感電）に対して、責任を負いかねます。

本製品を電源に接続できるのは、資格のある電気技術者のみです。

電気技術者は、国内規制および現地の電気事業者に対するその他の規制を熟知していて、それに従う必要があります。

設置後は、すべての電気部品を確実に遮蔽し、ユーザーの手が届かないようにしてください。

定格消費電力

型式表示シール参照

接続データ

接続データについては、型式表示シールを参照してください。これらが屋内の主電源と一致することを確認してください。

漏電ブレーカー

さらに安全性を高めるために、漏電ブレーカーの設置をお勧めします。

警告

本製品は必ず接地（アース）してください。

アフターサービス、型式表示シール

故障の際の連絡先

お客様では対応できない故障が発生した場合は、ミーレ代理店またはミーレ・カスタマーサービスにご連絡ください。

ミーレ・カスタマーサービスの連絡先情報は、本冊子の最終ページにあります。

トレーニングの目的で、電話による通話をモニターし、録音する場合がございます。また本冊子に記載されているようなお客様が対応できる故障でのサービス訪問でも、サービス料金が適用されることにご留意ください。

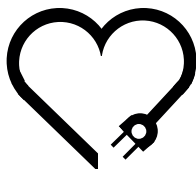
ミーレにご連絡いただく際は、お使いの機器の型番と製造番号をご用意ください。この情報は、型式表示シールに記載されています。

型式表示シール

本体に付属している予備の型式表示シールをここに貼付してください。型式番号が本書の裏表紙に記載されている番号と一致することを確認してください。

保証条件と保証期間

ご使用の製品に同梱されている保証書を参照してください。ご不明な点がございましたら本冊子の最終ページに記載されている弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。



愛情点検

長年ご使用の調理機器の点検を！

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- 電気コードや差し込みプラグが異常に熱くなる。
- 食品が加熱されないことがある。
- 加熱が止まらないことがある。
- 運転中に異常な音がする。
- 異常な臭いがしたり煙が出る。
- 機器に触るとビリビリと電気を感じることもある。
- その他の異常や故障がある。




●使用を中止してください●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。


ご不明な点は下記までお問い合わせください。

ミーレ・ジャパン株式会社

カスタマーサービス 固定電話からはフリーダイヤル

 0120-310-647

携帯電話からはナビダイヤル

 0570-096-300

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-24-12 オリックス目黒ビル4階

www.miele.co.jp

KM 6520 FR

ja-JP

M.-Nr. 11 267 800 / 05